

研究科・学部教授会議事録（平成24年11月22日（木））

平成24年10月25日（木）開催の研究科・学部教授会議事録について、確認の結果これを承認した。

報告・確認事項

1. 先導的薬剤師養成に向けた実践的アドバンスト教育プログラムの共同開発経費の 用途について

将来計画委員会委員長から、Pharm. D コースに係る事務員を2名雇用するための人件費、E-learning システムの立ち上げ及び薬剤疫学研究支援データベースの構築に関して使用することとした旨、報告があり、確認された。

2. 博士課程教育リディングプログラム「生体統御ネットワーク医学教育プログラム」 特任教員の推薦について

副研究科長から、特任教員の推薦について説明があり、候補者があれば今月中に相談いただくこととした。

3. 戦略的経費（総長裁量経費・教育研究等重点推進経費）について

総長裁量経費を教育推進会議で、教育研究等重点推進経費を教育推進会議で検討し、大阪大学薬学部・薬学研究科ならではの強みを加速させる方向で案出しし、持ち回り審議を行うこととした。

また、大学留保ポストの要求に関しては副研究科長が、総長ヒアリングへの対応に関しては研究部分を評議員、教育部分を副研究科長が担当し、概算要求に関しては将来計画委員会で取り纏めることとした。

協議事項

1. 生命科学研究独立アプレンティスプログラムに係るテニュア審査について

評議員から、審査内容及び今後のスケジュール等について説明があり、協議の結果、これを承認した。

2. 学内委員について

研究科長から協議資料2に基づき説明があり、これを承認した。

3. 招へい教員等の受入れについて

分子反応解析学分野教授から協議資料3に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

4. 革新的医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業個別提案研究課題の 採択について

評議員から協議資料4に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

5. 薬友会賞について

神経薬理学分野教授から協議資料5に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

6．平成25年度部局年度計画の作成について

薬学評価会議議長から、平成25年度計画の作成及び今後のスケジュールについて説明があり、協議の結果、これを承認した。

7．図書室の運営について

評議員から協議資料7に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

8．平成24年度非常勤講師について

学務会議議長から協議資料8に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

9．平成24年度ゲストスピーカーについて

学務会議議長から協議資料9に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

10．平成25年度共通教育科目の担当について

学務会議議長から協議資料10に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

11．長期課題研究論文に関する申し合わせの一部改正について

学務会議議長から協議資料11に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

12．長期課題研究発表会の時間割について

学務会議議長から協議資料12に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

13．国際交流科目の単位認定について

学務会議議長から協議資料13に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

14．学生の実習について

学務会議議長から協議資料14に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

15．営繕工事要求について

予算・施設会議議長及び事務部から協議資料15に基づき説明があり、協議の結果、これを承認した。

16．生薬標本等について

研究科長から生薬標本等の取扱いについて説明があり、協議の結果、現在寄託している生薬標本等は、寄贈する方向で進めることとした。

また、附属実践薬学教育研究センター長から薬用植物園の在り方等について説明があり、今後については附属実践薬学教育研究センター長が案出しすることとした。

なお、大阪大学総合学術博物館や、これまでの生薬材料学・伝統医薬解析学との経緯も踏まえ、耐震改修も鑑み、議論を進めることとした。

17．附属センター等の再編について

副研究科長から協議資料17に基づき説明があり、阪大薬の特色である「創薬基盤技術力」と「創薬臨床研究力」の強化をさらに推進するため、協議の結果、これを承認した。

また、今後、同様の方向性で、連携大学院や協力分野の在り方についても議論を進めていくこととした。

18. 耐震改修について

改修委員会委員長から協議資料 18 に基づき説明があり、協議の結果、次のとおり進めることとした。

- ・バッファ棟（プレハブ）建設の候補地としては、第一候補として1号館東側・駐輪場付近、第二候補として1号館・2号館間の築山とすること。
- ・プレハブは、合計1,260㎡とすること。
- ・プレハブへの居住希望分野を募ることとし、2分野の応募があれば、動物室及び研究室仕様として設計すること。ただし、2分野の応募がなければ、動物室及びレンタルラボ仕様とすること。